

令和3年度学校評価計画書

学校名（廿日市小学校）

評価計画											学校関係者	改善方策
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・指標	現状	目標値	中間8月	最終2月	達成	評価	結果と課題の分析	評価コメント	
①基礎・基本の定着を図り、確かな学力をつける	◎児童一人一人が「分かった」「できた」と実感する授業づくりを行い、自分の考えを相手に分かるように表現する力を付ける【小中共通】	・基礎・基本の定着を図り、学習に困難を抱えた児童に対し、個に応じた手立てを行う【小中共通項目】	授業が「分かった」「できた」「授業中、自分の考えを表現することができた」「深まった」と回答した児童の割合 <児童アンケート>	92	90							
		・自分の考えをもたせる手立てを工夫する	6月中、市教委より提示【市共通項目】									
		・言葉や表現を豊かにするために読書活動の充実	標準学力調査（算数）で60%未満の児童の割合	15	10							
		・表現の仕方について個に応じた手立てを行い、支援する	読書冊数 55冊達成した児童の割合	93	95							
②積極的な生徒指導を行い、豊かな「心」を育む	人の気持ちを考え、行動できる児童を育成する	「廿小3つの自慢」の向上に向けて児童の主体的な活動を仕組む「挨拶」「聞き上手」「身だしなみ」	各自慢が「とても良くできている」と回答した児童の割合 <児童アンケート>	挨拶 64 聞き上手 61 身だしなみ 70	65							
		自己肯定感、自己有用感を育てる学級の取組を仕組む	「クラスのみんなや学校の役に立った」と回答した児童の割合 <児童アンケート>	85	90							
		時間いっぱい自分の持ち場を丁寧に掃除する取組を仕組む【小中共通項目】	「児童は時間いっぱい丁寧に掃除している」と回答した児童・教職員の割合<児童アンケート・教師アンケート>	児 94 教 88	90							
③保護者・地域の信頼を高める	「廿笑顔園」と学校の双方の意欲が高まっている	・総合的な学習の時間を中心に児童が地域で活躍できる場をつくる ・効果的な運営がなされるよう、調整会議で状況を把握する ・地域行事に参加するように促す	地域や家族の役に立ったと感じた児童の割合 <児童アンケート>	87	87							
		働き方改革を推進し、子どもと向き合う時間を確保する	業務の見直しを行う	時間外勤務時間が月平均45時間を超える教職員の割合<在校等時間記録>	34	40						